



平成31年2月14日

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

広島国道事務所からの
お知らせ

親子で、橋の管理・電線共同溝について学びます ～小学生と保護者による「点検・工事体験会」を実施します～

現在、竹原市内では橋梁の補修工事、電線共同溝の整備等を進めています。

建設後50年以上経過する構造物は年々増加しており、広島国道事務所が管理する橋梁も 現在約4割ですが10年後には約5割と高齢化が急速に進んでいく状況にあり、国民生活の安全・安心を守るために、計画的・効率的に老朽化対策を進めていくことが重要となっています。

また、電柱の倒壊による緊急輸送道路の閉塞防止や道路景観の向上のため、電線類の地中化についても計画的に進めています。

この度、橋梁の役割や管理の重要性、電線共同溝の構造について、地域の皆様に理解を深めていただくことを目的に、点検と工事の体験会を開催しますのでお知らせします。

点検や工事を体験できるコーナーにおいて、竹原・竹原西・中通小学校の小学生と保護者が参加し、体験しながら橋梁の管理や電線共同溝について勉強していただくものです。

○開催日時： 平成31年2月16日（土）10：00～11：00

※悪天候の場合は中止します

○開催場所： 竹原市港町4丁目1256-8（詳細位置は別紙のとおりです）

※国道185号沿い たけはら海の駅南側の駐車場ヤードです

○参加者： 竹原・竹原西・中通小学校の小学生と保護者 約30名（予定）

- 内容：
- ① 橋のしくみ体験
 - ② 橋の点検体験
 - ③ 工事体験
 - ④ 最新の現場施設紹介
 - ⑤ 働く車の紹介
 - ⑥ 新技術（ドローン）の紹介

※その他、道路の役割や老朽化対策を勉強するパネル展示があります。



②点検等で使用する高所作業車に乗車してみよう！



①ブロックで橋をつくってみよう！



③コンクリートのひび割れを直してみよう！

※上記写真のような体験状況の取材が可能です。別紙の開催場所まで直接お越し下さい。

（問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長（管理） 荒木 勲（あらき いさお）

TEL(082) 281-4131 FAX(082) 286-7897

【体験会担当】道路保全課長 内田 豪士（うちだ つよし）

TEL(082) 281-4152 FAX(082) 286-7901

呉国道出張所長 和田 康正（わだ やすまさ）

TEL(0823) 73-4798 FAX(0823) 73-9414

ホームページ ○広島国道事務所 <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

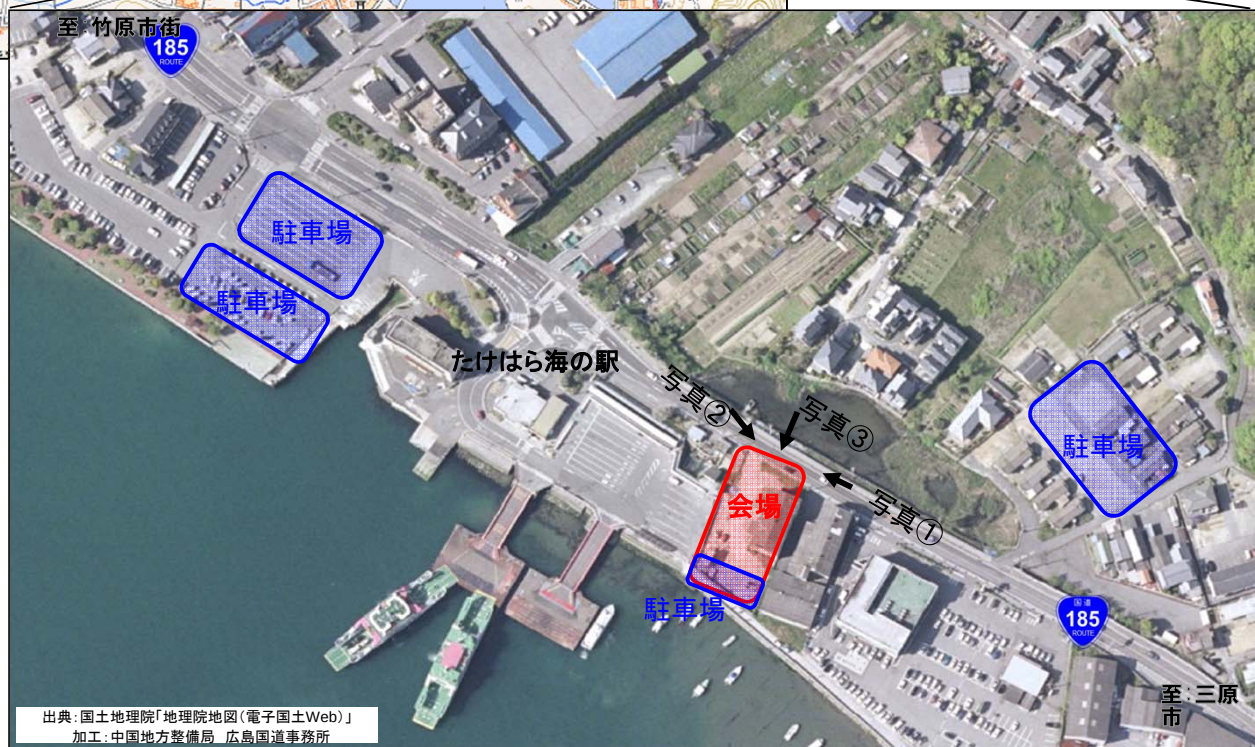
道路の異常を発見したら・・・道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

【広報担当】計画課長 亀岡 敬和（かめおか のりかず）

TEL(082) 281-4133 FAX(082) 286-7897

【開催場所】

※国道185号 たけはら海の駅南側の駐車ヤードです。
住所: 竹原市港町4丁目1256-8(広島県東部食糧協同組合竹原営業所配送センター横)



※駐車場は会場内(14台程度)、海の駅駐車場をご利用ください

三原市方面より

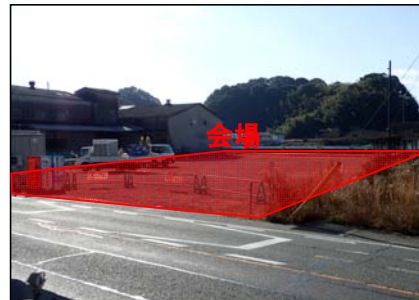


写真①

竹原市街方面より



写真②



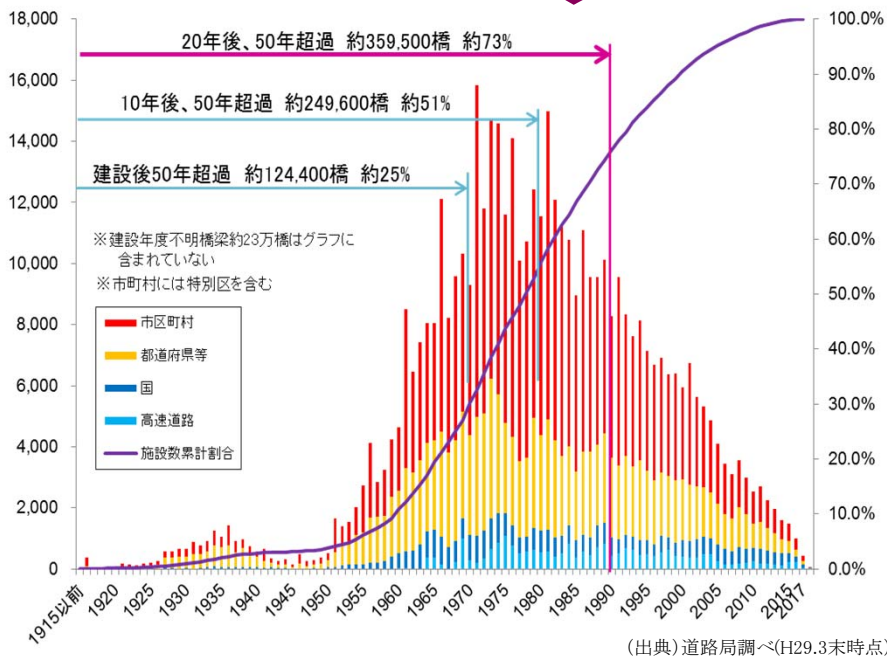
写真③

道路施設の老朽化対策

参考

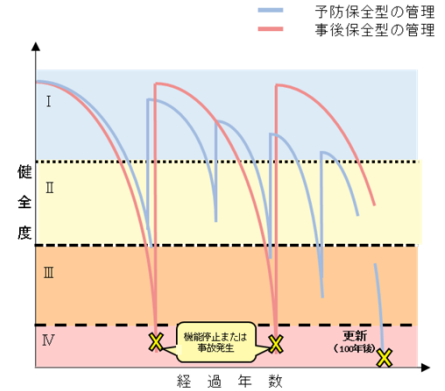
国内の道路施設の多くは高度成長期に集中して建設され、現在、その多くが建設後50年を超過し、補修等の措置が必要な中、今後、さらに高齢化が進むことから、将来の維持管理費を抑えるため、予防保全型の補修を進めるなど、道路施設の老朽化対策をいかに的確に実施していくかが、重要な課題となっています。

【建設年度別橋梁数】

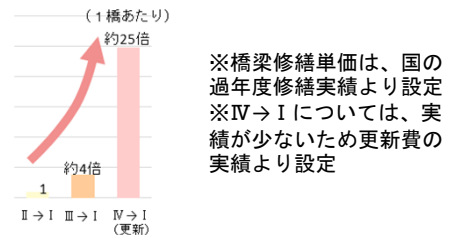


20年後（2037年）には
全体の約7割が建設後50年超に

【メンテナンスイメージ】



橋梁修繕単価の変化 〔Ⅱ→Ⅰを1とした場合〕



広島国道事務所では、安全で安心な道路機能の確保や構造物のライフサイクルコストの縮減等を図るため、定期的な点検により早期に損傷を発見し、対策（措置）を実施しています。

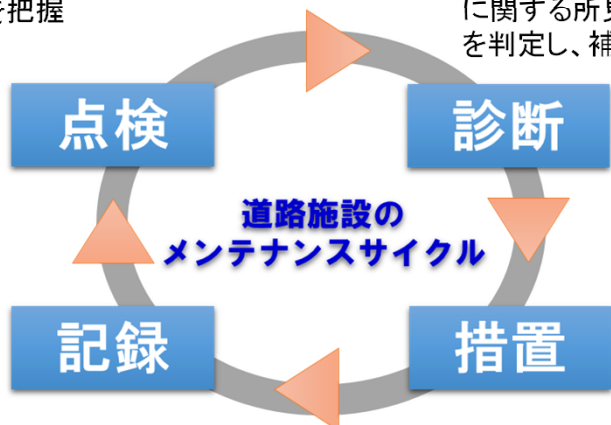
また、平成26年6月より広島県内全ての道路管理者をメンバーとした『広島県道路メンテナンス会議』を設立し、道路施設のメンテナンス対策強化に向けた連絡調整や、点検等技術力向上のための研修等を実施しています。

【点検】

定期的に点検し、損傷状況を把握

【診断】

定期点検結果に基づき損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分を判定し、補修等の計画を策定



【記録】

各種点検結果や補修等の履歴等を記録保存

【措置】

補修等の計画に基づき、効率的に補修等を実施





無電柱化を進めています

参考

無電柱化って？・・・電柱をなくして電線を地中に埋めることです。
無電柱化の目的は？・・・道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点からの無電柱化を推進しています。

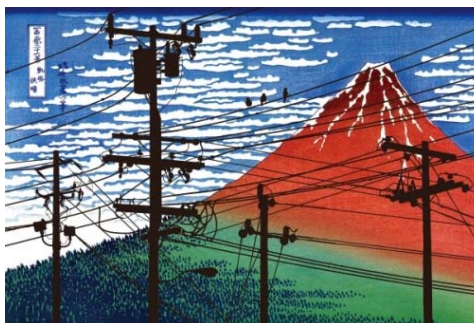
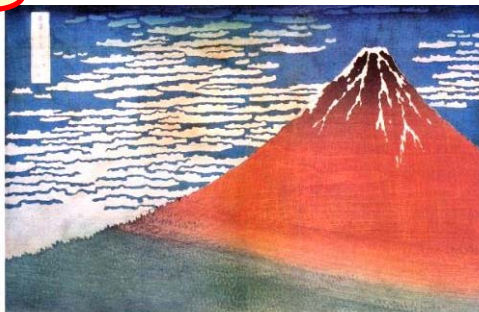
台風や地震などの大規模自然災害が発生すると・・・？



これじゃあ通れないよ～



せっかくの風景も・・・



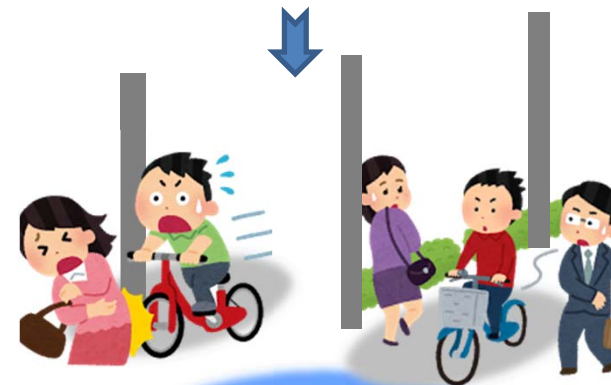
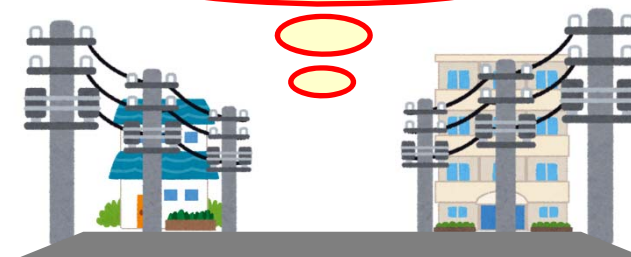
〔出典〕～上を向いて歩こう～無電柱化民間プロジェクト～実行委員会

どうにかならんもんかのう！

せっかくの風景が台無しじゃねえ



歩道に電柱があると・・・？



そうねえ！安全に歩きたいわね

歩道は広いほうがいいわね



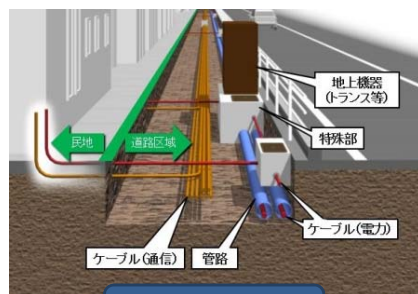


竹原市内で無電柱化を行います

参考

無電柱化を行うメリット

- 電柱の倒壊を防止して緊急車両の通行を確保できます。
- 歩道の有効幅員を広げることで通行空間の安全性・快適性を確保します。
- 景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。



構造イメージ



電柱の倒壊を防止して緊急車両の通行を確保できます



景観もすっきりして歩道が安全・快適に利用できます

